

2025

4.9 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_iipC7g2iQluS8T4z7A5Nfg

【技術支援】九州大学 Q-AOS

デジタルヘルスでエンパワーする世界の母子保健 - グローバルヘルスの実装 -



Key Words

グローバルヘルス

デジタルヘルス

母子保健

健康格差

菊地 君与 教授

アジア・オセアニア研究教育機構 研究推進部門

パリ第 8 大学で哲学修士号取得後、東京大学大学院医学系研究科で国際保健学を専攻し、修士・博士号を取得。日本の ODA の枠組みで、技術協力専門家や開発コンサルタントとして国際保健協力に従事。東京大学特任助教として、日本政府が MDGs 達成に向け提唱した「EMBRACE モデル」のガーナ実証研究に主研究員として従事し、クラスターランダム化比較試験で母子継続ケアの効果を検証。九州大学講師を経て、フルブライト研究員としてハーバード大学で Visiting Scientist、九州大学病院特任准教授を歴任。バングラデシュの母子デジタル遠隔健診研究を通じ内閣府特命担当大臣より「女性のチャレンジ賞特別部門賞」表彰。

グローバルヘルスは、人々が格差なく健康な生活を送られることを目指し、国境を越えて健康課題を解決する学際的な取り組みです。本セミナーでは、とくに母子の健康に焦点を当て、「お母さんと赤ちゃんが、切れ目なく医療を受けるには？」という問いに答えるため、医療アクセスが限られた国や地域での母子継続ケアの仕組みづくりに関する研究を紹介します。中でも近年注目されるデジタルヘルスの活用として、海外での母子遠隔健診の実施研究を取り上げ、妊産婦・乳幼児の健康管理、診断支援システムの可能性について議論します。